

都市と自然と City, Nature, Data and Form データと かたち

会期_2022年2月5日(土)~20日(日)

時間_10:00 ~ 19:00

休館日_2月9日(水)

会場_SCARTSモールA・B

SCARTSコート (札幌市民交流プラザ 1F)

入場無料

SCARTS × SIAF ラボ冬の展覧会 2022

企画・制作: SCARTS × SIAF ラボ

主催: 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)、札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市

協力: 札幌市雪対策室、札幌市図書・情報館

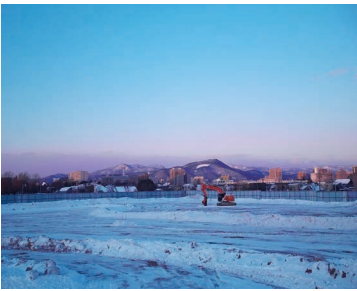
助成: 令和3年度 文化庁 文化資源活用推進事業



札幌文化芸術交流センター SCARTSとSIAFラボは、雪国・札幌の寒冷な気候や除雪・排雪といった北国特有の都市機能を、情報テクノロジーや芸術の視点を交えて捉え直すことで、新たな冬の魅力や創造性を発見しようとする継続的な取り組みを行っています。2018年からの3年間は、除雪・排雪に関わる環境データの収集を軸に、その活用方法や、それを元に生み出される芸術の可能性を探ってきました。

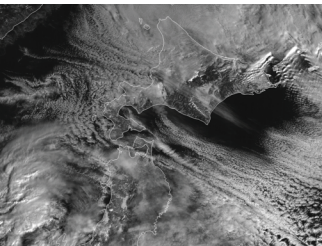
未知のものを自分たちの手で調べ、未だない何かを作り出そうとする、R&D(研究開発)をベースにしたこの取り組みは、札幌ならではのクリエイティビティを専門分野の垣根を越えて模索する試みであり、それ自体をひとつのアートプロジェクトとして位置付けることもできるでしょう。

4度目となるこの展覧会では、2020年の冬に収集した雪堆積場の定点撮影写真約7万枚を、季節の循環を生む地球の公転軌道に対応するかたちと並べる超横長のプリント、GPSによる除雪車約500台の位置情報を可視化する実験、気象衛星の観測データからチ・カ・ホの人流量データまで、札幌の都市や自然にまつわるデータを重ね合わせるインスタレーションを展開します。これらの実験的な試作品(プロトタイプ)を通して、札幌の都市と自然の在り方や、データという素材を用いたさまざまな造形、さらには、それらが生み出す新たな関係や存在を探索します。



タイアップ
SIAFラボ

2015年、生まれて間もない札幌国際芸術祭のもと、多種多様なプロジェクトの集合体として誕生して以来、トライ&エラーを繰り返しながら、ジャンルの垣根を越えた、オープンで実験的なプラットフォームとして活動を続けています。北国・札幌ならではのクリエイティビティを模索する研究開発(R&D)、アーティストの立場に立って実際に作品制作・展示や公演を行うアートプロジェクト、人材発掘・育成と人的ネットワークの構築を3本の柱として確立する一方、それらを有機的に結びつけて多彩なプログラムを実施しています。札幌国際芸術祭のテーマであり、札幌の特色である「都市と自然」、それらの在り方や相互の関係だけでなく、そこに生まれる営みについて、国際化や情報化にとどまらない現代の多様な文脈において再考し、札幌のローカルな場所や人、物事と再接続することで、札幌ならではの文化・芸術の醸成を目指します。



©JAXA・気象庁



昨年度の展示の様子。撮影：門間友佑

スカーフ
札幌文化芸術交流センター SCARTS

SCARTSは、2018年にオープンした札幌市中心部にあるアートセンターです。札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌市図書・情報館と共に札幌市民交流プラザを構成し、札幌における文化芸術の拠点となっています。市民の創造性ある活動をサポートし、札幌の文化芸術を支え、育てていくために、「あたらしい表現の可能性をひらく」「すべての人に開かれたアートとの出会いをつくる」「一人ひとりの創造性をささえる」という3つのミッションを定め、活動をしています。



ギャラリーツアー 2022年2月5日(土) 15:00~16:00

展覧会の内容を企画・制作メンバーが解説します。
事前予約不要・参加無料・当日SCARTSコート前に集合

トーク「都市と自然とR&D」 2022年2月13日(日) SCARTSモールA・B 事前予約不要・参加無料

※YouTube配信も予定しています。

第1部: 札幌の冬と新たな表現 時間:14:00~15:30(90分)

SCARTSとSIAFラボの冬の取り組みを通して見えてきた札幌の冬の新たな側面と、そこから生まれた新たな表現の紹介を交え、表現手法としての「R&D」が拓く芸術の可能性について考えます。

登壇者:小町谷圭、平川紀造(SIAFラボ)、岩田拓朗、樋泉綾子(SCARTS)
ファシリテーター:明貫紘子(キュレーター/メディアアート研究者/映像ワークショップ合同会社代表)

※登壇者追加予定

第2部: 「S.I.D.E(サイド)」プロジェクト 時間:16:00~17:30(90分)

SIAFラボは、北海道のフィールドを舞台にオープンで創発的な新時代のコラボレーションプロジェクトを始動。
道外から迎えるメンバーも登壇し、プロジェクトの背景や枠組みを紹介するだけでなく、その中心となる具体的なアイデアも紹介します。

登壇者:中井悠(No Collective(音楽その他)/Already Not Yet/東京大学大学院総合文化研究科(表象文化論)+芸術創造連携機構 准教授)、
朴炫貞(北海道大学 CoSTEP)、久保田晃弘、小町谷圭(SIAFラボ)
ファシリテーター:明貫紘子(キュレーター/メディアアート研究者/映像ワークショップ合同会社代表)

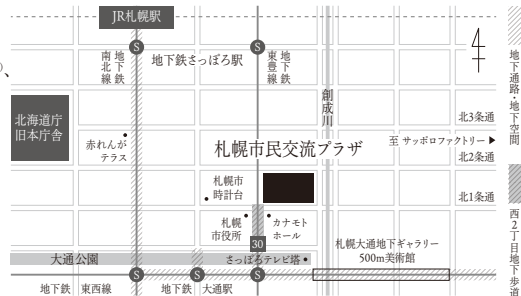
お問い合わせ

札幌文化芸術交流センター SCARTS

札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ 1-2F
TEL: 011-271-1955 (9:00-17:00、休館日を除く)



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
開場時間や入場時の受付方法等が変更となる場合があります。
来館前に最新情報をご確認ください。
ご来場の際はマスクの着用、手指消毒など、感染拡大防止にご協力をお願いします。



「大通駅」30番出口から西2丁目地下歩道より直結

札幌文化芸術交流センター
SCARTS

SIAF
LAB.